

## 千葉県福祉サービス第三者評価の評価結果 (保育所等)

### 1 評価機関

名 称	特定非営利活動法人コミュニティケア街ねっと
所 在 地	千葉県千葉市稲毛区園生町1107-7
評価実施期間	2025年 5月 13日～ 2026年 3月 31日

### 2 受審事業者情報

#### (1) 基本情報

名 称 (フリガナ)	オハナゆめ保育園 オハナユメホイクエン		
所 在 地	〒270-0153 千葉県流山市中116-1		
交通手段	つくばエクスプレス 流山セントラルパーク駅 徒歩3分		
電 話	04-7170-0895	F A X	04-7170-0896
ホームページ	<a href="https://central.ohana-yume.jp/">https://central.ohana-yume.jp/</a>		
経 営 法 人	株式会社マザープラネット		
開設年月日	2020年4月1日		
併設しているサービス	地域子育てセンター「みんなのFratto」 病児保育室「キッズケアブルーム セントラル」		

#### (2) サービス内容

対象地域									
定 員	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計		
	6	20	20	24	25	25	120		
敷地面積	1392.94㎡			保育面積			930.30㎡		
保育内容	0歳児保育	○		障害児保育	延長保育		○		夜間保育
	休日保育			病後児保育	一時保育		○		子育て支援
健康管理	嘱託医による内科(年2回)、嘱託医による歯科検診(年1回)、身体測定(毎月)								
食事	自園調理給食(幼児食、アレルギー献立、離乳食)								
利用時間	7:00-20:00(土曜日:7:00-18:00)								
休 日	日曜日、祝日、年末年始(12/29~1/3)								
地域との交流	日々の戸外散歩での地域の方々との関わり、近隣の農園でのいもほり活動等								
保護者会活動	クラス懇談会、個人面談、各種行事等								

(3) 職員（スタッフ）体制

職 員	常勤職員	非常勤、その他	合 計	備 考
	22	15	37	
専門職員数	保育士(幼稚園教諭含む)	看護師	栄養士	
	27	1	3	
	保健師	調理師	その他専門職員	
	0	2	1	

(4) サービス利用のための情報

利用申込方法	流山市保育課入所係へ入所申請	
申請窓口開設時間	8：30～17：15（土日祝日、年末年始を除く）	
申請時注意事項	流山市保育課に問い合わせ	
サービス決定までの時間	流山市保育課より通知	
入所相談	流山市保育課入所係または、随時施設にて園見学にて対応	
利用代金	保護者が居住する市町村の定める利用者負担、延長保育料	
食事代金	3号認定園児、実費徴収	
苦情対応	窓口設置	(受付担当) 前嶋 修 (解決担当) 藪本 敦弘
	第三者委員の設置	(流山子育てコミュニティNakocco) 代表理事 田中田美 (流山民生委員) 宮本修

### 3 事業者から利用（希望）者の皆様へ

<p>サービス方針 (理念・基本方針)</p>	<p>《保育理念》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者とその多様性に寄り添い、共に子どもを育みます</li> <li>・チャレンジ精神と自己肯定感に満ち溢れた子どもを育みます</li> <li>・五感に働きかける豊かな感性を持つ子どもを育みます</li> </ul> <p>《基本方針》</p> <p>「保育所保育指針」を遵守しながら、子どもたちのことを第一に考え、安定した心で自己発揮できる場所を提供する。子どもの健やかな育ちを見守るとともに第一の保育者である保護者とともに協力し合っ て、健全で豊かな人間性、感性をもち自分も他人も大切にできる子ども の育ちを援助する。</p>
<p>特 徴</p>	<p>《私たちの保育》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・五感に働きかける「子ども主体」のチャレンジ保育</li> <li>・子どもが安心してチャレンジできる「第二の家庭」</li> </ul> <p>《保育方針》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの「できた！」をみんなで楽しみます。</li> <li>・遊びと生活の中で子どもの五感を意識した保育を行います。</li> <li>・子どもの挑戦して「良い失敗」をどんどん経験してもらいます。</li> <li>・第一の保育者である保護者に寄り添う保育を行います。</li> </ul>
<p>利用（希望）者 へのPR</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣に自然豊富な流山運動公園があり、自然散策や探索活動、アスレチック、芝生広場など遊び込みや思い切り走り周れる環境が整っています。</li> <li>・遊びの中で学べる環境を整え「なぜ、どうして？」の疑問や思考力、問題解決力の育ちを援助します。日々の生活を通して、友だちと笑いあったり、悩んだり、頑張った後の達成感やお互いを認め合いながら自己肯定感を育む保育を行っています。</li> <li>・併設の子育て支援センター「みんなのFratto」、病児保育室「キッズケアルーム」と連携しています。専任のスタッフ（保育士、看護師）も常駐し子育ての困りごとや相談も気軽にできる環境が整っています。</li> </ul>

## 福祉サービス第三者評価総合コメント

特に力を入れて取り組んでいること
こどもの興味の広がりを促す援助や、五感を働かせて遊びや生活を学ぶ環境の工夫に取り組んでいる
保育者はこどもの発言や、興味を持って取り組んでいる様子を見て、遊びを展開できるようにしたり、発想をさらに広げられるように、提案や助言をすることを心がけている。こどもは自分で調べたり、友だちと話し合ったりしながら、知識を得たり、コミュニケーションの大切さを学んでいる。保育室に手触りの良い素材の手作り玩具や制作活動に使う道具を置いたり、絵本を自由に取り出せるような環境設定をしている。また、園庭には築山や砂場などがあり、こどもたちはどろんこ遊びをしたり、身近な自然を発見したり、五感を刺激する生活体験が得られるように取り組んでいる。
園の専門性を活かした地域貢献や地域交流に努め、地域の中で頼りにされる園となるよう取り組んでいる
子育て支援センター(Fratto)を併設し、近隣の子育て世帯のニーズの把握に努めている。給食の試食会や保健衛生に関するイベントを、子育て支援センターと協力し実施している。また、園長及び看護師等が親子と交流を図りながら、子育てに関する支援や相談などもおこなっている。地域交流として地域参加の秋祭りを開催し、地域のさまざまな人と関わり合いを持ちながら、地域の中で頼りにされる保育園となるよう取り組んでいる。
研修体制を整備し研修の機会を提供している
社内研修は年間計画のもと、代表が講師を務める次世代リーダー研修やマネージャー研修、会社顧問による社会人研修等がおこなわれている。そのほか、保育の専門家による保育の指導・相談を毎月受けられる仕組みがある。自治体が開催するキャリアアップ研修も積極的に受講している。園内研修については、研修委員が園長と打ち合わせ、園の課題を取り上げ毎月実施している。
さらに取り組みが望まれるところ
策定した事業継続計画(BCP)や安全計画については、職員と共通理解を図り取り組むことが望まれる
園では事業継続計画(BCP)や安全計画、避難訓練計画を策定し安全管理に努めている。事業継続計画では災害発生時のフローをまとめ、災害後に事業を復旧させるための手順、園の機能の立て直し手順等を示している。BCPについては、全職員へ周知することや、安全計画は毎月実施状況の振り返りを確認し、結果を記録することを期待したい。
苦情解決等の体制は、入園後も継続して保護者に周知することが期待される
苦情解決の体制を整えており、相談・苦情受付担当者や解決責任者及び第三者委員の氏名と連絡先を園のしおりや重要事項説明書に載せ、入園時に保護者に説明している。園内にも体制を掲示したり意見箱も設置するなど、さまざまな方法で把握する仕組みがある。一方で、保護者アンケートでは、苦情解決体制の理解が低い傾向が見られる。入園後も継続した周知を期待したい。
(評価を受けて、受審事業者の取り組み)
保護者への情報発信と内容の正確性に課題があると認識している。チェック体制を整え改善を図っていく。 意見箱を入りに設けているが、その活用方法や意見箱以外でも(例えばコードモン)意見を募れる体制を整えていく。

福祉サービス第三者評価項目（保育所等）の評価結果

大項目	中項目	小項目	項目	標準項目			
				☑実施数	☐未実施数		
I	福祉サービスの基本方針と組織運営	1 理念・基本方針	理念・基本方針の周知	1 理念や基本方針が明文化され、職員に周知・理解されている。	4	0	
				2 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	3	0	
		2 計画の策定	計画の適正な策定	3 事業計画が適切に策定され、計画達成のための重要課題が明確にされている。また、事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが話し合う仕組みがある。	7	0	
		3 管理者の責任とリーダーシップ	管理者のリーダーシップ	4 理念の実現や質の向上、職員の働き甲斐等に取り組み指導力を発揮している。	4	0	
		4 人材の確保・養成	人事管理体制の整備	5 全職員が遵守すべき法令や倫理を明示し周知している。	3	0	
				6 事業所の就業関係の改善課題について、職員（委託業者を含む）などの現場の意見を幹部職員が把握し改善している。また、福利厚生に積極的に取り組んでいる。	7	0	
			職員の質の向上への体制整備	7 人事方針を策定し、人事を計画的・組織的にを行い、職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	5	0	
			8 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	4	0		
			9 職員の教育・研修に関する基本方針が明示され、研修計画を立て人材育成に取り組んでいる。	5	0		
II	適切な福祉サービスの実施	1 利用者本位の保育	利用者尊重の明示	10 全職員を対象とした権利擁護に関する研修を行い、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している。	3	0	
				11 個人情報保護に関する規定を公表し徹底を図っている。	4	0	
			利用者満足度の向上	12 利用者満足度の向上を意図した仕組みを整備し、取り組んでいる。	4	0	
			利用者意見の表明	13 苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	4	0	
		2 教育及び保育の質の確保	教育及び保育の質の向上への取り組み	14 教育及び保育内容について、自己評価を行い課題発見し改善に努め、教育及び保育の質の向上を図っている。	3	0	
			提供する保育の標準化	15 提供する教育及び保育の標準的実施方法のマニュアル等を作成し、また日常の改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	4	0	
		3 教育及び保育の開始・継続	教育及び保育の適切な開始	16 保育所等利用に関する問合せや見学に対応している。	2	0	
				17 教育及び保育の開始に当たり、教育及び保育方針や内容を利用者説明し、同意を得ている。	4	0	
		4 子どもの発達支援	教育及び保育の計画及び評価	18 保育所等の理念や教育及び保育方針・目標に基づき全体的な計画が適切に編成されている。	4	0	
				19 全体的な計画に基づき具体的な指導計画が適切に設定され、実践を振り返り改善に努めている。	5	0	
			項目別実施サービスの質	20 子どもが主体的に活動できる環境が整備されている。	6	0	
				21 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	5	0	
				22 1・2歳児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	5	0	
				23 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	5	0	
				24 身近な自然や地域社会と関わられるような取組みがなされている。	4	0	
				25 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	6	0	
				26 特別な配慮を必要とする子どもの教育及び保育が適切に行われている。	6	0	
				27 保育時間の長い子どもに対して配慮がなされている。	3	1	
				28 家庭との連携が十分図られている。	3	0	
				29 地域社会との連携が十分図られている。	3	0	
			30 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応に努めている。	3	0		
			子どもの健康支援	31 子どもの健康状態、発育、発達状態を適切に把握し、健康増進に努めている。	3	0	
		32 感染症、疾病等の対応は適切に行われている。		4	0		
		5 安全管理	食育の推進	33 食育の推進に努めている。	5	0	
				34 環境及び衛生管理は適切に行われている。	3	0	
			事故対策	35 事故発生時及び事故防止対策は適切に行われている。	4	0	
			災害対策	36 地震・津波・火災等非常災害発生時の対策は適切に行われている。	6	0	
		6 地域	地域子育て支援	37 地域ニーズを把握し、地域における子育て支援をしている。	5	0	
		計				158	1

## 項目別評価コメント

(利用者はこども・保護者と読み替えて下さい)

標準項目  整備や実行が記録等で確認できる。  確認できない。

評価項目	標準項目
1 理念や基本方針が明文化され、職員に周知・理解されている。	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・基本方針が法人・保育所等の内部文書や広告媒体(パンフレット、ホームページ等)に記載されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針を事業所内の誰もが見やすい箇所に掲示し、職員配布文書に記載している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針を会議や研修において定期的に取り上げ職員と話し合い共有化を図っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針の実践を日常の会議等で話し合い実行面の反省をしている。
<p>(評価コメント)</p> <p>園の理念や保育方針、保育目標等をホームページやパンフレットに記載したり、園の入口にも保育理念を掲示し、職員が意識できるようにしている。法人が目指す方向性は「マザブラポリシー」にまとめられており、入職時には会社代表がオリエンテーションで説明し、理念の浸透に努めている。職員会議等で保育を振り返るときや話し合いをする際は理念を軸に据えている。また、クラスごとに曜日を決めて日々の保育を振り返る時間を設けており、「保育の質向上達成シート」をもとに話し合っている。課題については職員間で共有し取り組んでいる。</p>	
2 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	<input checked="" type="checkbox"/> 契約時等に理念・方針が理解しやすい資料を作成し、分かりやすい説明をしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針を保護者に実践面について説明し、話し合いをしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針の実践面を広報誌や手紙、日常会話などで日常的に伝えている。
<p>(評価コメント)</p> <p>入園前の見学会や保護者説明会では理念について丁寧に説明をしている。入園が決まった保護者には園のしおりをもとに保育や園のルールなどを説明をしている。また、簡単な資料を作成し理念を伝えたり、廊下の掲示を見てもらい、子ども主体の保育を説明している。理念の実践面は、園だよりにクラスの目標や活動を載せたり、毎日配信するドキュメンテーションでこどもの様子を伝えている。保護者個々には、連絡帳や降園時のコミュニケーションで、その日のこどもの様子を伝えている。</p>	
3 事業計画が適切に策定され、計画達成のための重要課題が明確にされている。また、事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが話し合う仕組みがある。	<input checked="" type="checkbox"/> 中・長期事業計画を踏まえて策定された事業計画が作成されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業計画が具体的に設定され実施状況の評価が行える配慮がなされている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業環境の分析及び現状の反省を踏まえ、理念・基本方針の具現化を図るための重要課題が明確にされている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 運営の透明性の確保に取り組んでいる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 各計画の策定に当たっては、現場の状況を把握し、職員等の参画や意見の集約・反映のもとに策定されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 方針や計画、課題は会議や研修会等にて定期的に説明し、全職員に周知されている。
<p>(評価コメント)</p> <p>単年度の事業計画は代表と園長が中心となり策定しており、主任やリーダー職員とは共有をしている。年度末には園の方針を説明し職員には理解してもらうよう努めている。事業計画では園を取り巻く現状を分析するとともに、園が今後目指すべき役割と機能とともに、年度の重点目標、を明記している。重点目標は課題と目標を設定し、具体的な取り組みを展開して、年度末には事業報告書としてまとめている。今年度より「保育の質向上達成シート」をもとに課題を見える化し、職員間で共通理解を図り目標を設定して取り組み、結果を毎週振り返っている。</p>	
4 理念の実現や質の向上、職員の働き甲斐等に取り組み指導力を発揮している。	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針の実践面の確認等を行い、課題を把握し、改善のための具体的な方針を明示して指導力を発揮している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員の意見を尊重し、自主的な創意・工夫が生まれやすい職場づくりをしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 定期的な研修等により知識・技術の向上を図り、職員の意欲や自信を育てている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 職場の人間関係が良好か把握し、必要に応じて助言・教育を行っている。
<p>(評価コメント)</p> <p>理念・方針の実践面は、「保育の質向上達成シート」の取り組みを通じて確認している。職員意見も尊重しており、4、5歳児の縦割り保育や園庭・エントランスの使い方などはアンケートを実施している。研修については社会人研修や障害児研修など本部の研修が充実しており、知識の向上に役立っている。キャリアパス制度があり、職員との個別面談を年4回実施し、個々に設定した目標に対する取り組みを話し合い、次回の面談につなげている。職場の人間関係や悩みごとなどは主任や園長が聞いている。着任して1年の園長であり、体制を整え保育の質向上に向けて取り組んでいる。</p>	
5 全職員が遵守すべき法令や倫理を明示し周知している。	<input checked="" type="checkbox"/> 遵守すべき法令や倫理を文書化し、職員に配布されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 全職員を対象とした、法令遵守と倫理に関する研修を定期的実施し、周知を図っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> プライバシー保護の考え方について、職員に周知を図っている。
<p>(評価コメント)</p> <p>職員が遵守すべきことは、法人が作成している「マザブラポリシー」とに盛り込み、入職時に配布している。保育士の倫理については「保育者の心得」があり、配布したり読み合わせをおこない理解を深めている。コンプライアンスに関しては入社時に説明をしたり、ハラスメント防止なども入社時の社長オリエンテーションの中で触れている。プライバシー保護にも努めており、年度当初の職員会議で確認し、その後は必要に応じて周知に努めている。配慮が必要なこどももあり、プライバシーには特に配慮をしている。</p>	
6 事業所の就業関係の改善課題について、職員(委託業者を含む)などの現場の意見を幹部職員が把握し改善している。また、福利厚生に積極的に取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/> ICT化の促進や保育補助者の活用等により、業務効率化を図っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 記録業務、行事、会議等の簡素化などにより、業務改善を図っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者や担当部署等を設置し職員の有給休暇の消化率や時間外労働のデータを、定期的にチェックしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 把握した問題点に対して、人材や人員体制に関する具体的な改善計画を立て実行している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生事業を実施している。
<p>(評価コメント)</p> <p>ICT化を進めており、登降園の管理や保護者への情報発信などはアプリを用い、業務の軽減に活用している。また、インカムなどの無線機器を導入し職員間の連絡手段などに用いて業務改善に繋げている。各期間の保育カリキュラムも電子化し利便性を上げている。有給休暇は取得を促しており、年度初めに計画を出してもらうほか、シフトの作成前には希望休を聞いている。また、半日休暇も可能である。法定休暇のほか3日間のリフレッシュ休暇制度を設けている。福利厚生として住宅手当や予防接種や園でおこなう親睦会などに補助をしている。</p>	

7	人事方針を策定し、人事を計画的・組織的に行い、職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	<input checked="" type="checkbox"/> 人材確保・定着・育成の方針と計画を立て実行している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職務の権限規定等を作成し、職員の役割と権限を明確にしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価基準や評価方法を職員に明示し、評価の客観性や透明性の確保が図られている。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価の結果について、職員に対して説明責任を果たしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価が公平に出来るように工夫をしている。
(評価コメント) 法人として役職ごとの人物像を「マザプラボリシー」に記載し、人材育成に努めている。職員一人ひとりの育成のため、自己成長を目標としたキャリアパス面談を四半期ごと実施している。評価は12の指標ごとに対応する成長指標を設け、グレードの目指す姿の実現を図るものとなっている。成長を支援するため個別面談では、目標と一緒に立てたり達成のため何をやるかを話し合っている。また、園長や副園長、主任、保育士等の役割を事業計画書に明示している。評価者の研修として面接者研修があり公平な評価を心がけている。		
8	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。 <input checked="" type="checkbox"/> 福祉サービスの提供に関わる専門職(有資格の職員)の配置等、必要な福祉人材や人員体制について、具体的な計画がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 法人(福祉施設・事業所)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。
(評価コメント) 法人の経営計画書には適切な配置基準を設け、人材確保・育成に取り組んでいる。事業計画書にも職員配置の基本方針を載せている。園では職員の適正な配置に努めており、正社員やパート職員のバランスも考慮している。将来の保育者育成の観点からアルバイトの学生や無資格者も在籍しており、子育て支援員の資格取得を支援促している。求人活動は本社の担当部署がおこなっており、ホームページやSNSでの求人、就職説明会などに参加をしている。		
9	職員の教育・研修に関する基本方針が明示され、研修計画を立て人材育成に取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/> 中長期の人材育成計画がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 職種別、役割別に能力基準を明示している。 <input checked="" type="checkbox"/> 研修計画を立て実施し、必要に応じて見直している。 <input checked="" type="checkbox"/> 個別育成計画・目標を明確にしている。 <input checked="" type="checkbox"/> OJTの仕組みを明確にしている。
(評価コメント) キャリアパスをもとに中長期の人材育成に努めている。キャリアパスでは成長指標を明示し、グレードごとの想定役職や実践内容を明確にしている。また、職員は必須項目や努力項目から目標を設定し取り組むことになっている。社内研修は年間計画のもと、代表が講師を努める次世代リーダー研修やマネージャー研修、会社顧問による社会人研修等をおこなっている。そのほか、保育の専門家による保育の指導・相談を毎月受けられる仕組みがある。園内研修については、研修委員が園長と打ち合わせ、園の課題を取り上げ毎月実施している。新人職員にはチューターを付けており、1年間併走し育成する仕組みがある。		
10	全職員を対象とした権利擁護に関する研修を行い、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している。	<input checked="" type="checkbox"/> こどもの尊重や基本的人権への配慮について定期的に勉強会・研修を実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 日常の援助では、個人の意思を尊重している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員の言動、放任、虐待、無視などが行われることの無いように、職員が相互に振り返り組織的に対策を立て対応している。
(評価コメント) 通常の保育ではこどもの主体性を尊重し、否定的な言葉はなるべく使わない、ダメなことを伝える時は理由を丁寧に伝えるようにしている。こども同士のトラブルでは保育者は中立となり、こども同士での解決を促している。給食も一斉ではなく、盛り付けも、こどもに食べる量を聞くなど意思を尊重している。年1回、人権養護のためのチェックリストをもとにセルフチェックをおこない、日ごろの言動を振り返っている。気になる言葉遣いなどは、個別に園長・副園長が指導をしている。		
11	個人情報保護に関する規定を公表し徹底を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/> 個人情報の保護に関する方針をホームページ、パンフレットに掲載し、また事業所等内に掲示し実行している。 <input checked="" type="checkbox"/> 個人情報の利用目的を明示している。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者等の求めに応じて、サービス提供記録を開示することを明示している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員(実習生、ボランティア含む)に対し、個人情報保護について研修等により周知徹底している。
(評価コメント) 運営法人のプライバシーポリシーをホームページに掲載している。個人情報の保護規定も整備されており、保有する個人情報の内容の訂正・追加・削除や、利用目的、利用目的以外の利用制限などを明記している。職員には入職時に誓約書を提出してもらうなど、個人情報の保護を徹底している。実習生やボランティアにもオリエンテーションで説明し、承諾書を提出してもらっている。保護者には入園時に肖像権の承諾書の説明をして理解を求めている。		
12	利用者満足度の向上を意図した仕組みを整備し、取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者満足度を把握し改善する仕組みがある。 <input checked="" type="checkbox"/> 把握した問題点の改善策を立て迅速に実行している。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・家族が要望・苦情を言いやすい体制を整備している。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者等又はその家族との相談の場所及び相談対応日の記録がある。
(評価コメント) 年2回、各クラスの保護者代表が参加する運営委員会を開催しており、意見を聞く場となっている。また、保護者が参加する保育参加・参観や夏祭り、運動あそび、クリスマス会、卒園式などの行事後には、アンケートで感想をもらったり意見・要望等の把握に努めている。要望・意見などは次年度の行事に反映させている。保護者からの相談は個別に対応し、内容は記録に残している。また玄関に意見箱を設置し、利用者の意見を聞くことに努めている。		
13	苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者に交付する文書に、相談、苦情等対応窓口及び担当者が明記され説明し周知徹底を図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 相談、苦情等対応に関するマニュアル等がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 相談、苦情等対応に関する記録があり、問題点の改善を組織的に実行している。 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者に対して苦情解決内容を説明し納得を得ている。
(評価コメント) 苦情解決の体制を整えており、相談・苦情受付担当者や苦情解決責任者及び第三者委員の氏名と連絡先を園のしおりや重要事項説明書に載せ、入園時に保護者に説明している。園内にも体制を掲示したり意見箱も設置するなど、さまざまな方法で受け付ける仕組みがある。苦情に対応するマニュアルも整備し、受け付けた場合は解決に至るまでの経緯を記録に残すようにしている。意見箱からの要望や意見は回答し、連絡用のアプリで全保護者に周知をしている。		

14	教育及び保育内容について、自己評価を行い課題発見改善に努め、教育及び保育の質の向上を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育の質について自己評価を定期的に行う体制を整備し実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育の質向上計画を立て実行し、PDCAサイクルを継続して実施し恒常的な取り組みとして機能している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	自己評価や第三者評価の結果を公表している。
(評価コメント)			
今年度は「保育の質向上達成計画シート」に基づいて、クラス単位で保育に対する振り返りを実施している。特に評価の低い部分を話し合っ対策をまとめ、取り組んだことは次回の振り返りで評価し、保育の質を上げていく仕組みとなっている。PDCAサイクルを回しながら保育の質向上に取り組んでいる。個々の職員に対しては、キャリアパス制度を導入し、年度初めに目標を設置し、四半期ごとに園長との振り返り面談を実施し、スキル向上に努めている。			
15	提供する教育及び保育の標準的実施方法のマニュアル等を作成し、また日常の改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	業務の基本や手順が明確になっている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	分からないときや新人育成など必要に応じてマニュアルを活用している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	マニュアル見直しを定期的に行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	マニュアル作成は職員の参画のもとに行われている。
(評価コメント)			
リスクマネジメントや感染対策、災害対策、事故対策、アレルギー対応などの全社共通マニュアルが整備されている。各委員会が中心となり、マニュアルは適時に見直している。見直したマニュアルは委員会から拠点担当(各園に配置)におろされ、現場の保育士と共有が図られる。また、現場の声は拠点担当から各委員会に上げられる仕組みがある。事故や感染症が発生した際にはマニュアルを確認し適切な対応をしている。園独自でも早番や遅番のマニュアルを作成している。マニュアルは園の事務室に置き、いつでも確認できるようにしている。			
16	保育所等利用に関する問合せや見学に対応している。	<input checked="" type="checkbox"/>	問合せ及び見学に対応できることについて、パンフレット、ホームページ等に明記している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	問合せ又は見学に対応し、利用者のニーズに応じた説明をしている。
(評価コメント)			
問い合わせや見学に対応できることはパンフレットやホームページに記載しており、パンフレットには電話番号やホームページのURLを記載している。ホームページには問い合わせフォームがあり、見学や説明会の希望日を伝えることができる。電話での問い合わせにも対応し、随時見学を受け付けている。見学はいつでも可能であり1回3組を上限として、会社のパンフレットや姉妹園のちらし等を渡し案内をしている。また、見学時には主体性の保育を掲示物で見せながら案内している。そのほか、年2回姉妹園と合同の入園説明会を実施し、保育理念や保育内容を説明している。			
17	教育及び保育の開始に当たり、教育及び保育方針や内容等を利用者説明し、同意を得ている。	<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育の開始にあたり、理念に基づく教育及び保育方針や内容及び基本的ルール等を説明している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	説明や資料は保護者に分かりやすいように工夫している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	説明内容について、保護者の同意を得るようにしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育の内容に関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している。
(評価コメント)			
4月入園が決まった保護者には姉妹園と合同の説明会をおこない、途中入園の保護者には個別面談を実施し、園のしおりに沿って保育の内容や、アレルギーやケガ・病気の場合の対応などを説明している。個別の質問にはそれぞれで対応している。保育の開始にあたっては、重要事項説明書の内容を説明し同意書ももらっている。また、入園にあたり事前に送付した各種書類を持参してもらい、個人面談で内容を再度説明しながら確認している。そのほか、保育時間や慣れ保育の日にちなどは保護者と相談の上決定している。			
18	保育所等の理念や教育及び保育方針・目標に基づき全体的な計画が適切に編成されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	全体的な計画は児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとりあて作成している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	全体的な計画は、教育及び保育の理念、方針、目標及び発達過程などが組み込まれて作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの背景にある家庭や地域の実態を考慮して作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	施設長の責任の下に全職員が参画し、共通理解に立って、協力体制の下に作成されている。
(評価コメント)			
全体的な計画は保育所保育指針に沿いながら、地域の実情や子育て世帯の環境を考慮し、園長が素案を作成している。そこから、現状のこどもの発達過程を考慮し、副園長や主任、保育リーダーを中心に見直す機会を設け修正している。全体的な計画は、0歳児から5歳児までの保育目標を養護と教育に分け作成している。基本的な方針として、社会的責任や人権尊重、説明責任、情報保護、苦情処理・解決などを明示している。また、食育、環境及び衛生管理、安全対策・事故防止、保護者支援、地域支援などを盛り込んでいる。			
19	全体的な計画に基づき具体的な指導計画が適切に設定され、実践を振り返り改善に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	全体的な計画に基づき、こどもの生活や発達を見通した長期的な指導計画と短期的な指導計画が作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	乳児、1歳以上3歳未満児、障害児等特別配慮が必要なこどもに対しては、個別計画が作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	発達過程を見通して、生活の連続性、季節の変化を考慮し、こどもの実態に即した具体的なねらいや内容が位置づけられている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	ねらいを達成するための適切な環境が構成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	指導計画の実践を振り返り改善に努めている。
(評価コメント)			
全体的計画を踏まえて年間計画(4期の計画)、月案、週案(日案)を、こどもの姿やねらいの具体的な内容を考慮し作成している。毎日のこどもの状況は情報システムに記録し、職員間で共有をしている。個別の指導計画は、こどもの興味・関心がある遊びや要求が満たされていたかなど各クラスで振り返りをおこない、次月に繋げている。			

20	子どもが主体的に活動できる環境が整備されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	子ども一人ひとりを受容し、子どもの状態に応じた保育の内容や方法に配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子どもの発達段階に即した玩具や遊具などが用意されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子どもが自由に素材や用具などを自分で取り出して遊べるように工夫されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	好きな遊びができる場が用意されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子どもが自由に遊べる時間が確保されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育者は、子どもが主体性を発揮できるような働きかけをしている。
(評価コメント) 保育者は「そうだねそうだったね」「やってみよう」など、子どもが次の行動に見通しが持てるような言葉かけをし、答えが見つけれられるように援助している。保育室は遊びと生活のエリアを分けて、子どもが自由に遊べるコーナーを設けている。子どもの発達に合わせた絵本やブロック、手触りの感触が良い素材を使用した手作り玩具などを用意して、子どもの状況を見ながら、遊びを進展させられるような声掛けをしている。引き続き、子どもの遊びの継続や遊び込める時間を確保できるような環境構成の工夫が期待される。			
21	乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/>	子どもの状態に応じて食事や睡眠を十分に取ることのできる機会や環境が確保されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	十分に体を動かすことのできる機会や空間が確保され、子どもの個人差や興味、関心に沿った保育室の環境を整えている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	語りかけや歌いかけ、体の動きや表情、発声や喃語等への応答など愛情豊かで受容的・応答的な関わりをしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子ども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。
		(評価コメント) 子ども一人ひとりの食事の形態や睡眠など、生活のリズムを大事にしながらも、臨機応変に子どもの状況に応じて対応できるようにしている。保育者が応答的な関わりを持ち、ゆったりとした雰囲気の中で過ごせるように努めている。保護者とは連絡帳アプリ(コドモン)で写真を添付して毎日の様子をドキュメンテーションとしてお伝えしている。また、育児や発達について常に相談に応じるなど支援している。週に1回、講師を招いてリズムクをおこなっており、音楽に合わせて体を自由に動かす時間を持っている。子ども一人ひとりの発達状況は、毎日職員間で確認している。	
22	1・2歳児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/>	基本的な生活習慣等について、子どもが自分でしようとする気持ちを尊重している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	友だちの気持ちや友だちとの関わり方を丁寧に伝えている。(子どもの気持ちを代弁して、お互いの気持ちに気づけるように関わり方を丁寧に伝えている。)
		<input checked="" type="checkbox"/>	周囲の環境や人・ものへの探索行動を存分にできるよう、安全に配慮しながら環境を整備し、様々な遊びを取り入れている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子ども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。
		(評価コメント) 基本的な生活習慣として、衣服の着脱は自分でやりたい気持ちを大切に、「ズボンがはけた」など、子どもが達成感を味わえるように声掛けをするなど、自発的な気持ちを尊重している。子ども同士の関りについては、自分の気持ちを言葉で伝えることが難しい場合は、気持ちを代弁しながら関わっている。連絡帳アプリや送迎時などに子どもの生活の様子を保護者と共有し、相談に応じるなどしている。職員間で環境や子どもの姿などについて話し合い、実態に即した保育ができるよう努めている。	
23	3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/>	基本的な生活習慣等について、自分でやり遂げたという満足感を味わわせるよう配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	他の子どもと多様な関わりがもてるように援助している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子どもの興味や関心を引き出すことができるよう、子どもの能動性を引き出す自由な空間や物を配置している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子ども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。
		(評価コメント) 子どもが飲みたい時に自分の水筒から水分補給したり、子どもが主体的に着替えなども行えるような声掛けをするなど、子どもが主体的に行動できるような援助を心がけている。毎日の保育の中で子どもの興味関心を把握し、遊びこめる環境を確保している。送迎時などに子どもの生活の様子を保護者と共有し、保護者からの相談には常に対応している。子どもの状況については全体会議にて職員間で共有しており、子ども一人ひとりの成長に合わせた保育が園全体でできるようにしている。	
24	身近な自然や地域社会と関わるような取組みがなされている。	<input checked="" type="checkbox"/>	子どもが自然物や動植物に接する機会を作り、教育及び保育に活用している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	散歩や行事などで地域の人達に接する機会をつくっている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	地域の公共機関を利用するなど、社会体験が得られる機会をつくっている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	季節や時期、子どもの興味を考慮して、生活に変化や潤いを与える工夫を日常教育及び保育の中に取り入れている。
		(評価コメント) 園の周辺は自然が身近な環境となっており、生き物や植物などに接する機会を積極的に作っている。自然の中で発見したり考えることを大切にしている。また、隣接する公共施設の中庭で地域の人と接したり、農家の畑で芋ほりをするなど、地域社会と関わる機会もある。年長児は「お手伝いプロジェクト」として、当社で運営しているチルパークまで交通機関を利用して行き、掃除や絵本整理などを手伝うなど社会体験ができるようにしている。	

25	遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/> こども同士の関係をより良くするような適切な言葉かけをしている。 <input checked="" type="checkbox"/> けんかや気持ちのぶつかり合いが発生した場合、危険のないように注意しながら、こども達同士で解決するように援助している。 <input checked="" type="checkbox"/> 順番を守るなど、社会的ルールを身につけていくように配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもが役割を果たせるような取組みが行われている。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもが自発性を発揮し、友だちと協同して活動できるよう援助している。 <input checked="" type="checkbox"/> 異年齢のこどもの交流が行われている。
<p>(評価コメント)</p> <p>保育者は断定的な偏った判断での言葉かけや仲立ちをしないように、一人ひとりのこどもの気持ちを受け止め丁寧に関わっている。トラブルが発生した場合は、保育者は成長段階に応じて解決ができるように見守りしたり、双方の話を聞いて気持ちを受け止め、自分の気持ちを言葉で伝えることの大切さを知らせたりしている。給食の時は当番が「いただきます」の挨拶、給食のメニューを伝えるなどの役割を持っている(年長児)。また、時々異年齢で散歩に行く機会を設けて、年長児が年下のこどもの世話をしたり、年下のこどもが年長児を頼るなどの姿が見られている。</p>		
26	特別な配慮を必要とするこどもの教育及び保育が適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/> こども同士の関わりに対して配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 個別の指導計画に基づき、きめ細かい配慮と対応を行い記録している。 <input checked="" type="checkbox"/> 個別の指導計画に基づき、保育所等全体で、定期的に話し合う機会を設けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 障害児教育及び保育に携わる者は、障害児教育及び保育に関する研修を受けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者に適切な情報を伝えるための取組みを行っている。
<p>(評価コメント)</p> <p>特別な配慮を必要とするこどもについては、こどもの特性を把握したうえで、集団の中で無理なく活動に参加できるように個別指導計画を立てて支援している。必要に応じて、嘱託医(小児科)や児童発達支援機関、グループ会社(児童発達支援事業所)に相談したり、来園してもらい専門的なアドバイスをもらっている。保護者とは、こどもへの関わりなどを共有している。グループ会社の児童発達支援事業所に通所する園児も増えるなど、発達支援に関しても連携体制が整えられている。</p>		
27	保育時間の長いこどもに対して配慮がなされている。	<input checked="" type="checkbox"/> 担当の職員が変わる場合には、引き継ぎが適切に行われ、必要に応じて保護者に説明されている。 <input type="checkbox"/> 担当職員の研修が行われている。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもが安心・安定して過ごせる適切な環境が整備されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 年齢の異なるこどもと一緒に過ごすことに配慮している。
<p>(評価コメント)</p> <p>延長保育(18時以降)の引き継ぎはクラス伝達ノートを活用して、担当保育者が保護者に情報を伝えている。保育形態や担当職員が変わってもこどもが安心して過ごせるよう、抱っこしたりゆっくりと過ごせるような環境に配慮している。また、保育時間が長くなるこどもが飽きないように、普段と違うおもちゃを出すなどしている。延長保育担当職員の研修(外部や内部)についてはより充実させることが期待される。</p>		
28	家庭との連携が十分図られている。	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、こどもの発達や育児などについて、個別面談、教育及び保育参観、参加、懇談会などの機会を定期的に設け、記録されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者からの相談に応じる体制を整え、相談内容が必要に応じて記録され上司に報告されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 外国籍家庭や外国にルーツをもつ家庭、ひとり親家庭、貧困家庭等、特別な配慮を必要とする家庭について、保護者の意向や思いを理解できるよう努めるとともに、必要に応じて個別の支援を実施している。
<p>(評価コメント)</p> <p>個別面談は年1回、保護者懇談会は年2回、保育参観は年1回実施し、こどもの日々の様子や発達や育児について情報交換をしている。保護者からの要望に応じて個別面談をすることもある。毎日の生活の様子は連絡アプリ(コドモン)やドキュメンテーションで配信している。登降園時は保護者とコミュニケーションを取り、園でのこどもの様子を伝えると共に、保護者からも家庭での様子を聞き情報交換し、内容により記録に残している。外国籍の家庭については、日常的には通常通り対応しているが、必要に応じて翻訳アプリを使用するなど工夫をしている。</p>		
29	地域社会との連携が十分図られている。	<input checked="" type="checkbox"/> 小・中学校などの生徒の体験学習や実習を受け入れたり、高齢者との交流を行ったりするなど、地域社会との交流を図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 就学に向けて、保育所等のこどもと小学校の児童や職員同士の交流、情報共有や相互理解など小学校との積極的な連携を図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもの育ちを支えるため、保護者の了解のもと、認定こども園園児指導要録及び保育所児童保育要録などが保育所等から小学校へ送付している。
<p>(評価コメント)</p> <p>体験学習や実習は積極的に受け入れている。行政機関の幼保小連携体制(架け橋プログラム)があり、研修会などに参加し小学校と連携を図っている。グループ会社の放課後学童クラブの小学生に、こどもが学校生活についてのインタビューしたり、けん玉など伝承遊びなどを通して交流を図っている。保育所児童保育要録を作成し、小学校へ送付している。</p>		
30	家庭での虐待等権利侵害の疑いのあるこどもの早期発見・早期対応に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/> こどもの心身の状態を観察し、家庭での不適切な養育の兆候や、虐待の把握に努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭での不適切な養育の兆候や、虐待が疑われる場合には、所長に報告し継続観察を行い記録している。 <input checked="" type="checkbox"/> 虐待被害にあったこどもがいる場合には、関係機関と連携しながら対応する体制を整えている。
<p>(評価コメント)</p> <p>こどもの様子を日々丁寧に観察し、虐待など権利侵害の早期発見に努めている。虐待が疑われる場合は、園長に報告することになっている。また、関係機関へ報告・相談し、経過を把握できるようにしている。家庭での不適切な養育の兆候がある場合は、心身の状態を継続観察して早期発見・早期対応ができるようにしている。必要に応じて関連機関への情報提供・相談をしている。</p>		

31	こどもの健康状態、発育、発達状態が適切に把握し、健康増進に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/> こどもの健康に関する保健計画を作成し、心身の健康状態や疾病等について把握・記録され、嘱託医等により定期的に健康診断を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者からの情報とともに、登所時及び教育・保育中を通じてこどもの健康状態を観察し、記録している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員に乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する知識を周知し必要な取り組みを行い、保護者に対して必要な情報を提供している。
(評価コメント) 保健計画を作成し、それに基づいて年2回の内科健診、年1回の歯科検診、毎月の身長体重測定を実施している。健康診断や身体測定等の結果は情報システムで保護者に伝えている。登園時は体調の変化や傷の有無を確認し、個々の体調に考慮しながら保育をしている。乳幼児突然死症候群(SIDS)対策として、0歳児が5分間隔、1歳児、2歳児は10分間隔で睡眠チェック表で確認をしている。SIDS防止のポスターを園内に掲示し、午睡チェックの重要性を保護者と職員に周知している。		
32	感染症、疾病等の対応は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/> 感染症発生時における業務継続計画(BCP)が策定され、定期的な見直しを実施するとともに職員に周知されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 教育及び保育中に体調不良や傷害が発生した場合には、そのこどもの状態等に応じて、保護者に連絡するとともに、適宜、嘱託医やこどものかかりつけ医等と相談し、適切な処置を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 感染症やその他の疾病の発生予防に努め、その発生や疑いがある場合には、必要に応じて嘱託医、市町村、保健所等に連絡し、その指示に従うとともに、保護者や全職員に連絡し、協力を求めている。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもの感染・疾病等の事態に備え、医務室等の環境を整え、救急用の薬品、材料等を常備し、適切な管理の下に全職員が対応できるようにしている。
(評価コメント) 社内で感染症発生時の事業継続計画を策定し、毎年見直しして職員へ周知するようにしている。保育中に体調不良やケガ・事故が発生した際は副園長、看護師が対応し、首から上のケガは写真を撮り、保護者に連絡するとともに、こどもの状況によっては医療機関を受診するなど適切に対応している。感染症については、発生状況を連絡帳アプリでお知らせし、最新情報を提供している。救急用の薬品の点検は、定期的に感染委員会の担当者がおこなっている。嘔吐処理セットを備え、吐しゃ物の除去、下痢の処理など適切な対応できるようにマニュアルを整備し定期的に職		
33	食育の推進に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/> 食育の計画を作成し、教育及び保育の計画に位置付けるとともに、その評価及び改善に努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもが自らの感覚や体験を通して、自然の恵みとしての食材や調理する人への感謝の気持ちが育つように、こどもと調理員との関わりなどに配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 体調不良、食物アレルギー、障害のあるこどもなど、一人一人のこどもの心身の状態等に応じて、嘱託医、かかりつけ医等の指示や協力の下に適切に対応している。 <input checked="" type="checkbox"/> 食物アレルギー児に対して誤食防止や障害のあるこどもの誤飲防止など細かい注意が行われている。 <input checked="" type="checkbox"/> 残さず食べることや、偏食を直そうと強制したりしないで、落ち着いて食事を楽しめるように工夫している。
(評価コメント) 栄養士と各担当が話し合って食育計画を作成し、様々な食育に取り組んでいる。春雨に触ってみたり、寒天づくり、とうもろこしの皮むき、みりんミュージアムの見学など、さまざまな体験を通して楽しみながら学び、食に興味を持てるように取り組んでいる。また、エントランスに当日の給食の野菜の端材を展示し、食材を身近に感じられるようにしている。給食とおやつは情報アプリで写真で確認できるようにしている。アレルギー対策は除去食で対応しており、調理員と管理職、保育者で確認する体制を整えている。		
34	環境及び衛生管理は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/> 施設の温度、湿度、換気、採光、音などの環境を常に適切な状態に保持するとともに、施設内外の設備及び用具等の衛生管理に努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> こども及び職員が、手洗い等により清潔を保つようにするとともに、施設内外の保健的環境の維持及び向上に努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 室内外の整理、整頓がされ、こどもが快適に過ごせる環境が整っている。
(評価コメント) 園内の環境維持のために、加湿器、空気清浄機、エアコン、冬季には床暖房などにより快適に過ごせるようにしている。食事やおやつの前、遊んだ後、排泄後の手洗いを徹底し、ペーパータオルを使用するなど、感染対策を徹底している。チェック表を用いて物品の在庫衛生管理も徹底している。毎日、使用した玩具を消毒し、保育室は清潔を保つようにしている。整理・整頓については自分のクラスだけではなく、園全体を意識して、こどもが快適に過ごせるように心がけている。		
35	事故発生時及び事故防止対策は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/> 事故発生時の対応マニュアルを整備し職員に徹底している。 <input checked="" type="checkbox"/> 事故発生原因を分析し事故防止対策を実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 設備や遊具等保育所等内外の安全点検に努め、安全対策のために職員の共通理解や体制づくりを図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 危険箇所の点検を実施するとともに、外部からの不審者等の対策が図られている。
(評価コメント) 事故対応マニュアルについては、社内の事故対策委員会が作成している。安全計画は園長が作成している。安全点検は、チェックリストの項目に沿って園内外を確認している。事故発生時は事故報告書に記録し、事故対策委員会で事故の要因分析と再発防止策の検討をおこない、内容は全職員に周知しており、事故の内容によっては全職員で事例検討もしている。ヒヤリハット事例についても同様に、未然に防ぐ取り組みをおこなっている。散歩の際は、道路の状況や公園の遊具などの安全確認、点呼の励行などの対策をしている。安全計画については振り返りもできると、さらによいと思われる。		
36	地震・津波・火災等非常災害発生時の対策は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/> 災害発生時における業務継続計画(BCP)が策定され、定期的な見直しを実施するとともに職員に周知されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 地震・津波・火災等非常災害発生に備えて、役割分担や対応等マニュアルを整備し周知している。 <input checked="" type="checkbox"/> 定期的に避難訓練を実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 避難訓練は消防署や近隣住民、家庭との連携のもとに実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 立地条件から災害の影響を把握し、建物・設備類の必要な対策を講じている。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者及び職員の安否確認方法が決められ、全職員に周知されている。
(評価コメント) 本部で全園共通の事業継続計画を策定し、管理職へ周知している。また、社内に災害対策委員会を設置し、マニュアルの見直しや非常時の役割分担をしている。保護者には非常災害の対応について「園のしおり」で周知している。避難訓練は地震・火災・不審者などを想定し、年間計画に沿って役割分担して毎月実施している。また、消防署への通報訓練やAEDの取り扱い、引き渡し訓練も実施している。災害時の利用者及び職員の安否確認などは情報システム、災害伝言ダイヤル(171)を活用することとしている。		

37	地域ニーズを把握し、地域における子育て支援をしている。	<input checked="" type="checkbox"/>	地域の子育てニーズを把握している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子育て家庭への保育所等機能を開放(施設及び設備の開放、体験保育等)し交流の場を提供し促進している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子育て等に関する相談・助言や援助を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	地域の子育て支援に関する情報を提供している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもと地域の人々との交流を広げるための働きかけを行っている。
(評価コメント)			
<p>子育て支援センター(Fratto)を併設しており、近隣の子育て世帯のニーズを把握できる体制を整えている。子育て支援センターと協力し、給食の試食会や保健衛生に関するイベントを開催して地域の子育て家庭と交流する機会を作り、園長や看護師が子育てに関する相談なども受けている。また、病児・子育て支援センターと保育園が協働で毎年秋祭りを開催しており、地域の人と在園するこどもとの交流の場になっている。</p>			